

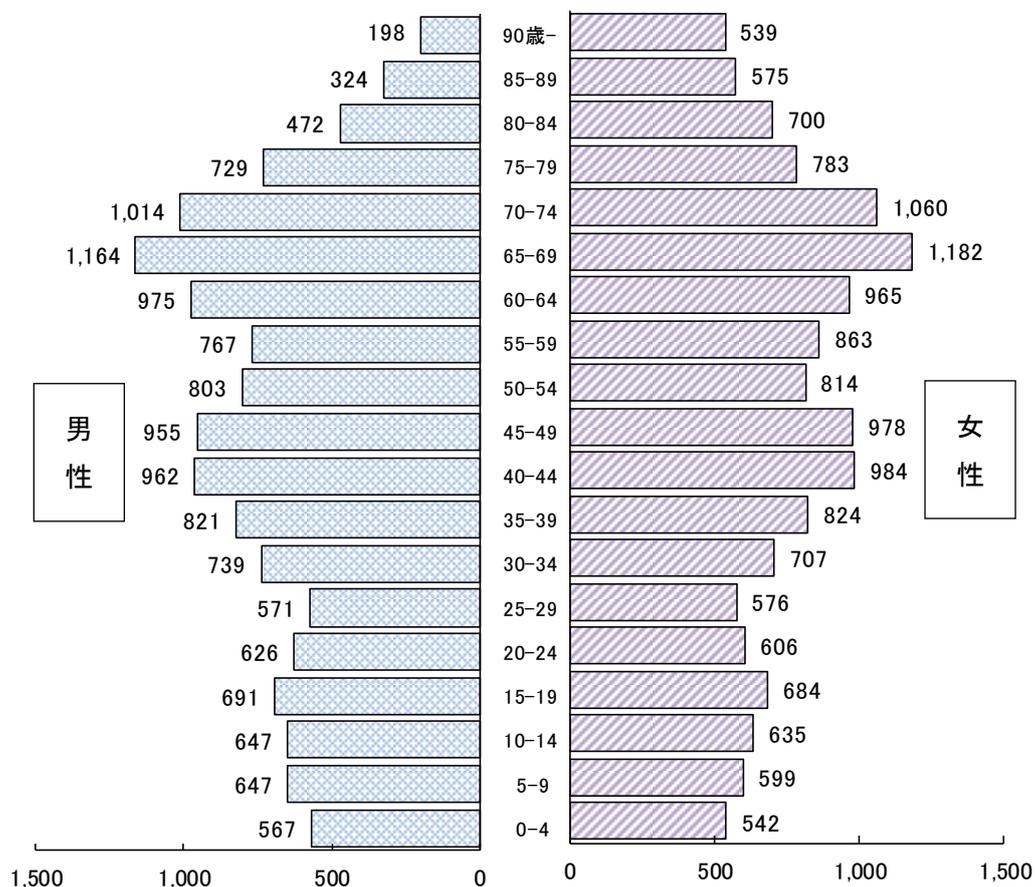
## 第2章 統計からみる、三木町の現状

### 1. 人口等の動向

#### (1) 総人口

本町の平成31年4月1日現在の総人口は男性13,672人、女性14,616人の計28,288人です。40歳～49歳と60歳～74歳が多くなっていますが、25-29歳以下は他の年齢階層と比べて少なくなっています。

図表1 人口ピラミッド



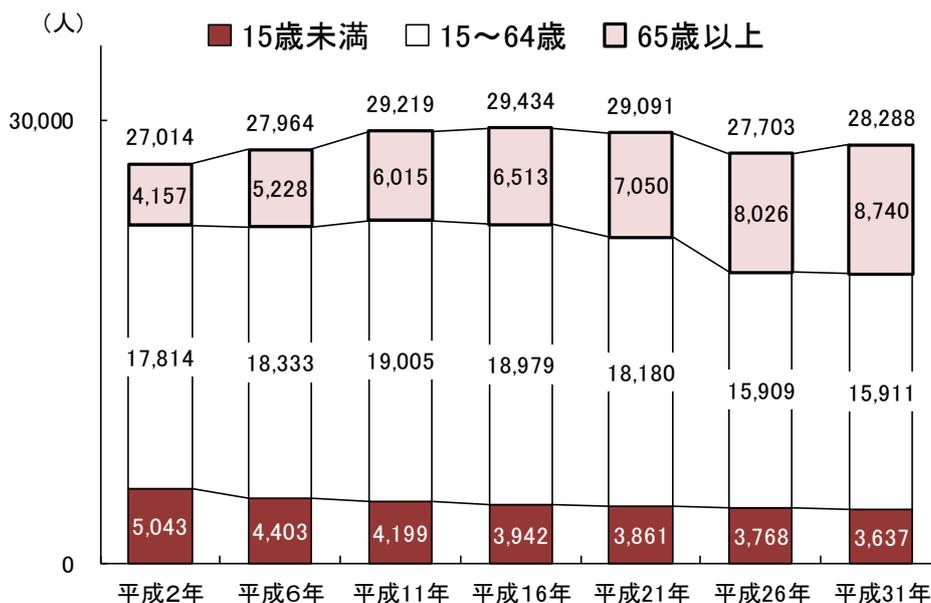
平成31年4月1日現在

資料：住民基本台帳

## (2) 年齢3区分人口及び割合の推移

人口の推移をみると、平成16年をピークに人口減少が始まるも、平成31年は再び増加しています。15歳未満の人口はなだらかに減少していますが、65歳以上の人口は大きく増加しており、少子高齢化が進んでいることがうかがえます。

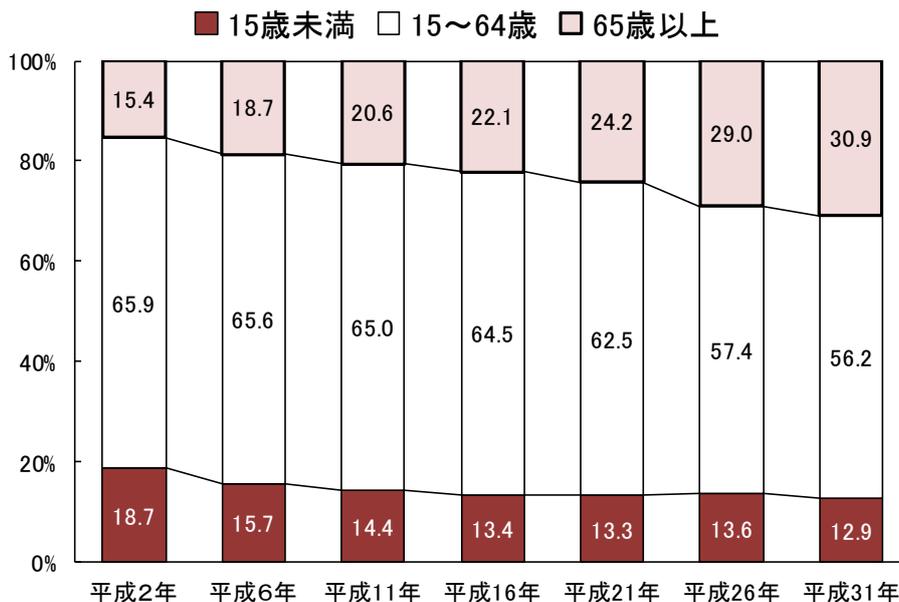
図表2 年齢3区分人口の推移



各年4月1日現在

資料：住民基本台帳

図表3 年齢3区分割合の推移



各年4月1日現在

資料：住民基本台帳

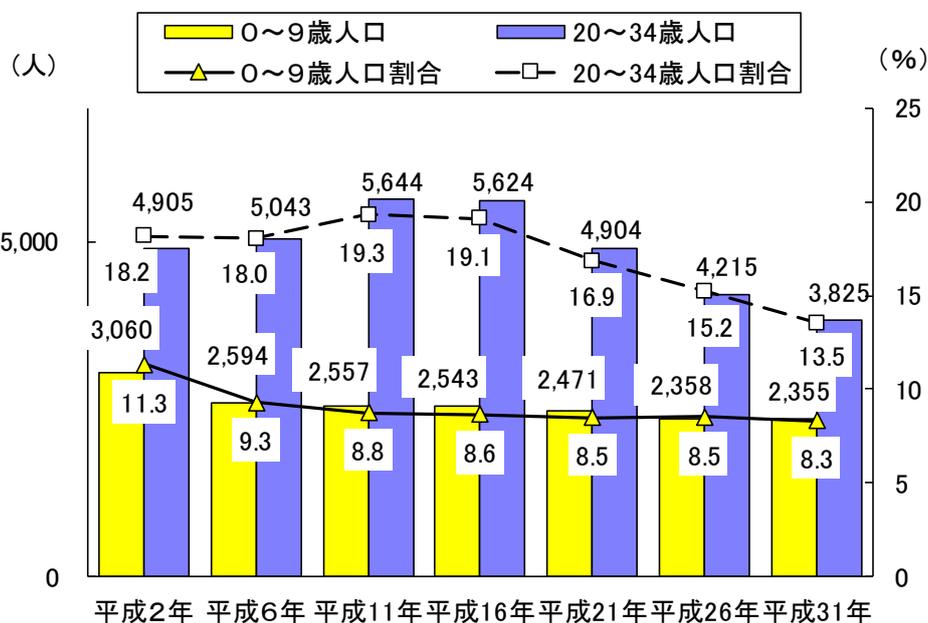
### (3) 0～9歳人口と20～34歳人口の推移

少子化の指標の一つとして0～9歳人口の推移を見ると、平成2年に3,060人であったのが一貫して減少し、平成31年には2,355人と29年間で23.0%減少し、平成31年の総人口に占める比率は8.3%となっています。

一方、結婚適齢期といえる20～34歳の人口の推移を見ると、平成11年に5,644人とピークをむかえました。以降減少傾向に入り、平成31年には3,825人と20年間で32.2%減少しています。また、総人口に占める比率も19.3%から13.5%と大きく減少しています。

一般に、子どもの数は、結婚適齢人口の多寡に少なからず影響を受けるといわれています。結婚適齢人口の減少に加え、晩婚化傾向等もあいまって少子化が徐々に進んでいる様子が見えてきます。

図表4 0～9歳 / 20～34歳人口の推移



各年4月1日現在

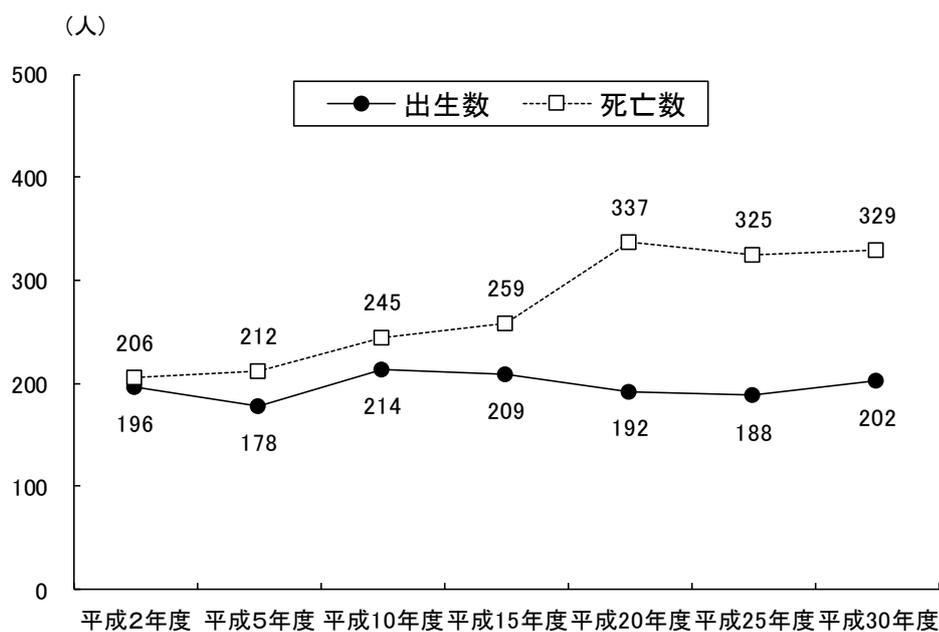
資料：住民基本台帳

## 2. 自然動態

### (1) 出生数と死亡数の推移

平成2年からの推移をみると出生数はほぼ横ばいの傾向が続いています。一方、死亡数は増加傾向にありましたが平成20年以降は横ばいの傾向が続いています。本町では一貫して死亡数が出生数を上回っており、自然減となっています。

図表 5 出生数と死亡数の推移



各年4月1日現在

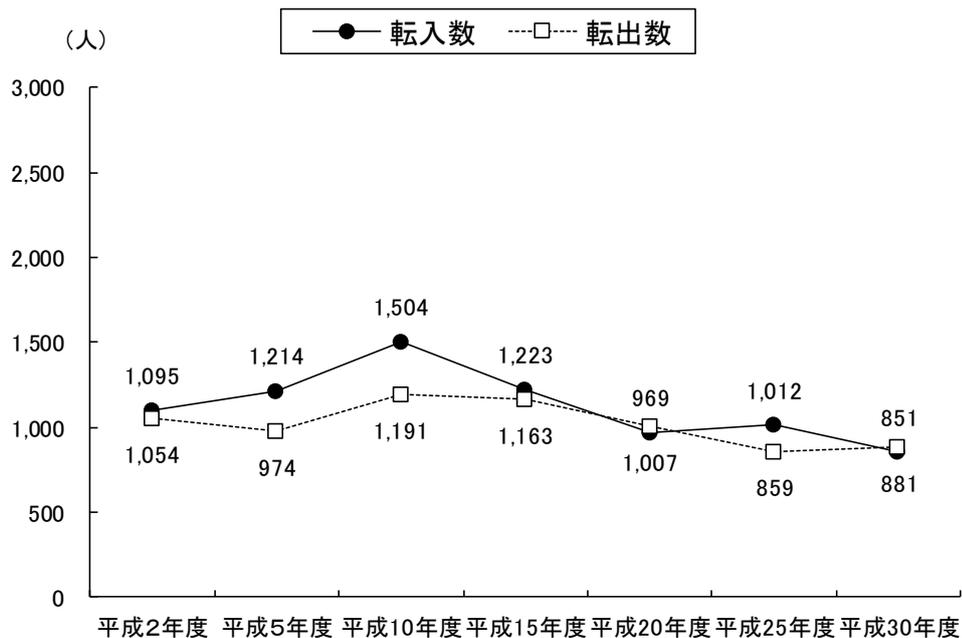
資料：住民基本台帳

### 3. 社会動態

#### (1) 転入数と転出数の推移

平成10年までは転入数が転出数を上回る社会増の傾向にありましたが、平成15年以降は平成25年を除いて転入数と転出数がほぼ同数となっています。

図表6 転入数と転出数の推移



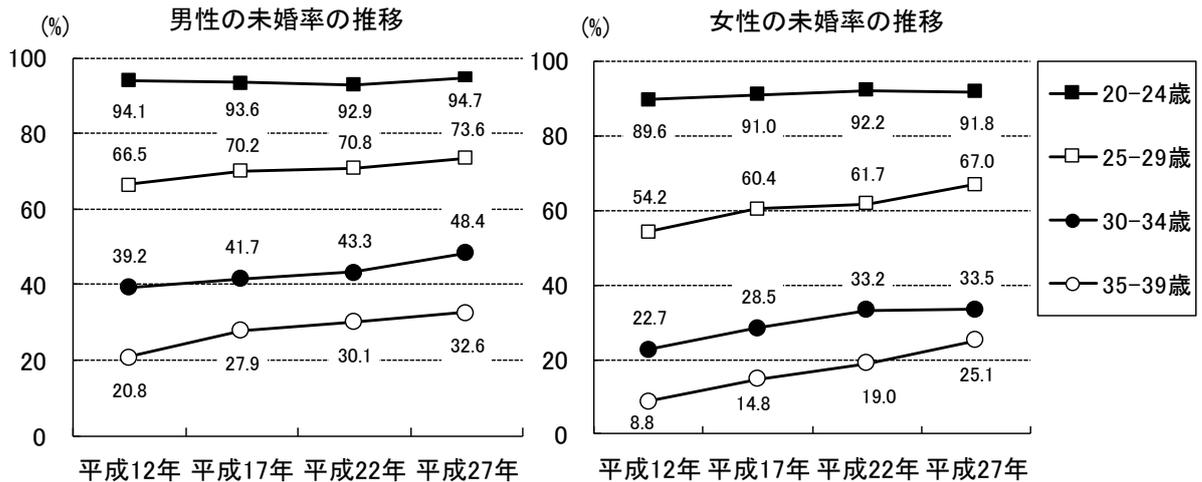
各年4月1日現在

資料：住民基本台帳

## 4. 未婚率の推移

20～39歳の男女の未婚率の推移を5歳階層別に見ると、20～24歳の男性、女性を除く全ての階層で未婚率が上昇していることが分かります。特に、女性の25歳から29歳と35歳から39歳の未婚率の上昇が大きく、本町においても、いわゆる女性の晩婚化傾向が進んでいることがうかがえます。

図表 7 未婚率の推移



各年 10月1日現在

資料：国勢調査

## 5. ひとり親世帯について

本町のひとり親世帯は、母子世帯が139世帯(1.3%)、父子世帯が20世帯(0.2%)となっており、香川県や全国の割合と比較すると、母子家庭は比較的割合は低くなっており、父子家庭は同様の傾向にあります。

図表 8 ひとり親世帯の世帯数

	世帯数	母子世帯		父子世帯	
		実数	割合	実数	割合
三木町	10,647世帯	139世帯	1.3%	20世帯	0.2%
香川県	397,602世帯	6,396世帯	1.6%	750世帯	0.2%
全国	53,331,797世帯	754,724世帯	1.4%	84,003世帯	0.2%

平成27年10月1日現在

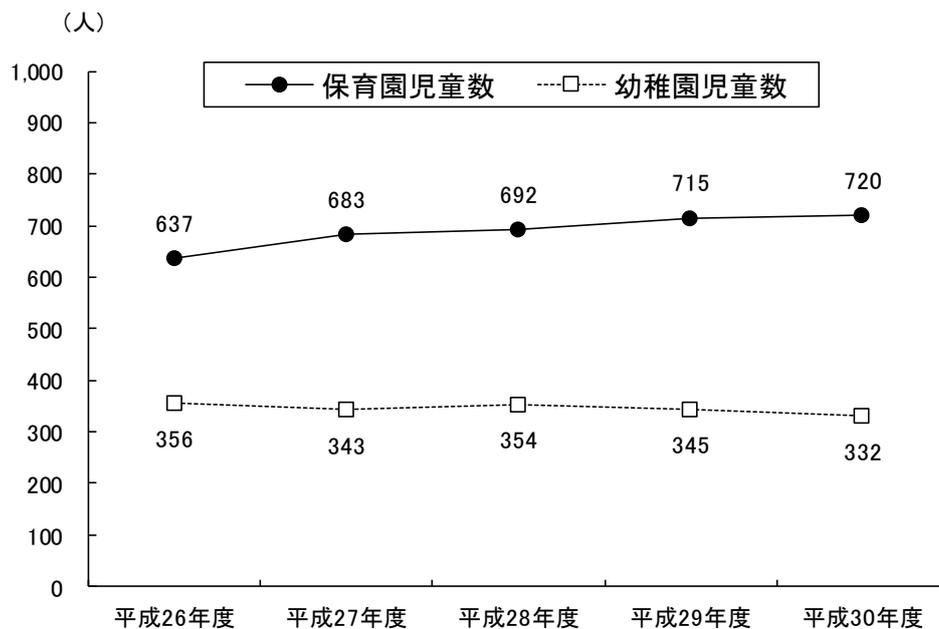
資料：国勢調査

※ひとり親世帯とは、未婚・死別又は離別の女(男)親と、未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯のこと

## 6. 幼稚園・保育所児童数の推移

幼稚園の児童数を見てみると、ほぼ横ばい傾向が続いています。一方、保育園児童数は一貫して増加傾向にあります。

図表 9 幼稚園・保育所児童数の推移



各年 4 月 1 日現在

資料：三木町